

9月の生活表

2022年 9月

聖マリア幼稚園

年主題：つながって ～今、わたしを生きる～

月主題：のびやかに

・保育日数（20日）

月目標：**<3歳児>**・礼拝、祈り、聖歌を通して心を動かす。

・好きなことを通して気持ちの合う友だちと出会い、心も体も伸びやかに過ごす。

・空や風、虫など身近な事柄を通して季節の移り変わりを感じる。

（保）さまざまな遊びの中で、試行錯誤してできるように、関わりや環境を工夫する。

<4・5歳児>・礼拝の時を大切に思い、聖書の話（神さまのみこころ）に心動かして聞く。

・友だちと一緒にいることや、友だちとイメージを共有して遊ぶことを愉快だと感じる。

・一人一人が自分らしさを持って、今を楽しむ。

（保）保育者自身が、自然界の変化や面白さを五感で感じていく。

45日間の無制限での夏休みが終了しました。如何お過ごしでしたか？初日に、三つのお約束を振り返り、子どもたちからいろいろお話を聞きました。みんなしっかり何らかのお手伝いをしていたようですね。可愛い花組さんは、『包丁で人参を切ったら人参さんが「痛い、痛い」というて逃げ出したの』『それでどうしたの？』『追っかけてパクって食べたら「食べないで噛まないで」って言ったんだけど食べちゃった』と何とも可愛い夢に溢れた発表もあり、とても温かい気持ちにさせてもらいました。夏休みにお子さんと接することで、新たな一面の発見はありましたか？45日間に成長を認めてあげられる出来事に出会われましたか？のびやかに、じっくりと見つめてみることも大切ですね。それに子どもたちの背が伸びてきました。それは、身も心も成長する大切な時を迎えたことでもあります。幼稚園では子どもたちへの心の目の視野をさらに広げ内面の充実さらに寄り添って実りある2学期を過ごしていきたいと考えています。ご家族のご理解・ご協力もお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもたちの成長には、自己発揮（表現）に始まり、主体的に対話的ということに視点を当てていく必要があると考えています。お友だちの気持ちをお互いが汲み取り協力して遊ぶこと。そして自律（立）の大切さです。それは日々の生活習慣を規則正しく行い、健康を気遣うこと。不得手なことにも繰り返してやってみようとする気持ちに向き合うことですね。すると考える力を得、失敗ありきの試行錯誤が生まれてきます。特に緑組は入学を目指し、赤組は社会性の獲得に花組はお友達と仲良く遊びながら、自分自身と向き合って新たな経験にも挑戦！してみるのです。また保護者と私たちが協力し情報交換することも重要です。2学期の様々な経験を楽しく挑戦し出来た！の自己肯定感に結びつく自信を得てstep upとなります様にお手伝い致します。子どもたちの自由遊びや設定保育を通して、長い将来に繋がる根幹の重要なこの幼児期に、神様から頂いた各々の賜物を伸ばす時を見極め、共に楽しみながら前進できるようにと願います。

子どもたちの各々の成長の時と内容を共に見つめて参りましょう。自然の移り変わりを愛で乍ら

《チャプレンコーナー》

月主題：のびやかに

月聖句：あるものは百倍にもなった。（マルコによる福音書4：8）

イエス様が人々に、たとえ話を話されました。「ある人が畑に種を蒔いた。ある種は道端に落ちて、鳥が食べてしまった。ある種は、石だらけの所に落ちて、枯れてしまった。ある種は茨の茂みの中に落ちて、伸びなかった。そして最後に、ある種は良い土地に落ちて、30倍、60倍、百倍の実りをもたらした。」作物は、条件がそろったときにはじめて、豊かな実りをもたらすのです。農家の方のご苦労を思います。

けれどもイエス様は、農業の話をされたものではありません。人の心のたとえ話なのです。人の心も、愛の条件がそろったときに、大きく成長します。みんなから愛され、みんなを愛して、信頼の輪の中で育つとき、人の心は大きく成長するのです。

イエス様は、かなりの楽道家だったようです。このお話の重要な点は、「最後は必ず大きくなる」です。鳥や石や茨のように、私たちの心の成長を阻むものは、この世界にいっぱいあります。けれども最後には、必ず成長するのです。人は、苦しみを乗り越え、成長する力を持っていると、イエス様は心から信じておられるように思います。

子どもたちは、すごいスピードで成長しています。心も体も成長しています。私たち大人は、子どもの成長を支えたいと思います。そのために最も大切なのが、愛です。子どもたちを心から愛すること。子どもからの信頼を、しっかりと受け止めること。それが子どもの成長を支えることでしょう。愛の交わりの中で育った子どもは、きっと自分の前に立ちふさがる「鳥」「石」「茨」を、押しのけ、乗り越えるほどに、成長することでしょう。

おたんじょうび おめでとうございます

6日	さなべ	じょうくん	8日	にいやま	みちるさん
10日	いくたに	ともこ先生	17日	かわしま	みなみちゃん
21日	よしむら	りりあんさん			

<生活指導>

☆2学期の始業にともない、規則正しい生活のリズムに戻しましょう。

- ・登園時間を一定にし（8時半～9時）、朝の遊びを大切にしましょう。
- ・体調を整えましょう。（早寝早起き、朝食、うがい、手洗い、入浴、シャンプー、歯磨き、等の励行。）

☆秋の自然に興味関心（好奇心・探究心等）を持たせる機会を得、親子で向き合ってみましょう。

- ・移り変わる自然：虫取り、虫の声、種取り、秋の花々、木の実、空の雲、気温の変化、山の色など小さな秋を見つけましょう。

☆敬老の日を機会に祖父母の存在を知らせ、接する機会を持って楽しく遊び、昔のお話も聞いてみましょう。

- ・いつも孫達のことを守り、祈って下さっている祖父母に対し、感謝の意を表しましょう。
- ・曾祖父母がご健在でしたら、その方の幼少期の遊びやお話を聞き、またその家に伝わる大切な事柄など、命とともに繋がってきていることを確認し合い、また繋いで行かねばならないことを、若い子ども達にも知らせる機会を持ってみましょう。

☆ご近所との繋がりも大切にしましょう。

- ・顔見知りのご近所の方々にもご挨拶をしましょう。『〇〇に住んでられる〇〇さん』であることも知らせましょう。

＜クラス便り：各担任より＞

＜花組＞

眩しい青空かと思えば灰色の雲が覆い溢れんばかりの雨が打ち付けて...夏の終わりは移り気なお天気にお悩まされました。しかし、マリアの夏の終わりはしっかりとプール遊びで締めくくることができました。

長い夏休みの間に、お友達を「さようなら～お元気で！また会おうね！」とお別れた花組さん。寂しさは拭えませんがマリアで出会い「つながった」僕たち私たちはどこにいても同じように神様に愛され御守りいただいています。今をしっかりと歩みが続けてゆく子どもたちのこれからの成長を願いながら寄り添いながら、心に覚えながら...

2学期もまた新たな気持ちで毎日を大切に過ごしてゆきたいと思います。そして、嬉しい新たにお迎えしたお友達との出会いに感謝してこれからしっかりと「つながって」ゆきたいと思います。花組さん！8名で！行事が目白押しなワクワク・ドキドキの2学期を楽しんでゆきたいと思います。これからはじまる、あんなことやこんなこと...子どもたちはどんなお顔で受け止めるのかな？楽しい！って感じて、心からの笑顔が溢れて欲しいな。あんなことやこんなこと...誰が始めにやる気を出してくれるのかな。どれもこれも今しかない経験の数々を一緒にしっかりと噛み締めながら丁寧に取り組み、8名の子どもたちの成長に繋げてゆきたいと思います。

「のびやかに」今月の月主題にあるように、どんな時も子どもたちが「のびやかに」心穏やかに生き生きと出来ているかな。その姿を感じ取ってあげられるように子どもたちに寄り添う私たち周りの大人がまず「のびやかに」であることを大切にしてゆきたいですね。

また、2学期も保護者の皆様のご理解とご協を賜りながら、子どもたちを真ん中に連携させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

＜赤組＞

今年の夏は「暑い！」と叫びたくなる日が多く、少し動くだけでも汗が滝のように流れ落ちる猛暑続きでした。今年度の夏季長期保育では、驚いたことに毎日プールに入ることが出来ました。顔に水がかかる事を拒んでいた子が、水の中で目が開けられるようになったり、スイ～っと気持ちよさそうに泳いだり、さらに「バシャーン！」と動きがダイナミックになっている子もいて、すっかり水と仲良くなっていました。9月2日はお日様が顔を出し、今年度最後のプールにも入ることが出来て大満足の夏の締めくくりとなりました。9月になったとはいえ日中はまだまだ暑い日が続きます。引き続き体調管理にも留意していきたいと思います。

さて！長いようで短かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。夏休み（夏季長期保育期間）で一度も幼稚園に来ていないお友達はなく、登園する頻度は違えど何度かは顔を合わせる日があったこの夏。笑顔で「おはようございまーす」と元気いっぱいな子、お友達と出会うと愉快地に登園した子どもたち、久しぶりの幼稚園でちょっぴり照れた様子の子、色々な姿で登園してくれました。2学期初日、みんなの顔が揃うとやはり嬉しく、何だか心が弾みました。そして、もう一つ嬉しいことが！

2学期から新しく一人のお友達を迎え、可愛らしい5人の女の子のクラスになりました。お世話上手な赤組さん、私が頼む前に「これはこうするんだよ」と目を合わせて優しく教えてくれる姿が見られました。自分のことで精一杯だった1学期から少し周りにも目を向ける余裕が出てくる2学期。こうしてお互いを助け合ったり、一緒に遊んで楽しいだけではなく、見えてきた相手（他者）をいい意味で意識し始め、ライバル視してみたりと、赤組としての社会性が芽生えだす時期だと思います。気持ちを言葉で伝え合えるように、相手の気持ちにも気付くことが出来るように、子どもたちを見守りながらお手伝いしていこうと考え、同時に自分自身も成長していきたいと思っています。

行事の多い2学期です。その中で葛藤や戸惑いにぶつかることもあると思いますが「やってみよう！」「できた！」をたくさん経験し、集団の中で「みんなで出来た！」とみんなで力を合わせて何か一つの事を成し遂げる喜びも味わって欲しいと思っています。2学期も、ご指導、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

<緑組>

久々に緑組の子ども達全員の顔が幼稚園に揃いました。みんなで9人！夏季保育の間に明るく優しい新しいお友達をお迎えすることができ、すっかり仲良くなった元気いっぱい6人の男の子と優しくお世話をしてくれる3人の女の子。夏の日差しに日焼けした笑顔にその成長を感じさせられました。初日、園長先生が「夏休み前（夏季保育）にしたお約束3つ、覚えてますか？」と質問されました。すっと手を挙げる緑組の子ども達。

「お手伝いをしましょう、お祈りをしましょう、お家の人のお手伝いをしましょうです」と少々緊張気味に答えると「さすが！」と拍手をしてもらいました。続いて「どんなお手伝いをしたの？」と質問が続くと「洗濯物を畳みました・人参を切ったりお野菜を切ってお料理をしました・お風呂洗いをしました...」といくつかの答えが返ってきました。「夏」だけではなく、継続して家族の中で自分の役割を担うことを続けて欲しいところですね。また今年は久々にご親戚の方々に会うことができたお子さんもおられたようですね。お盆の習わしを教わって、いところ同士で楽しい時間を過ごしたこと、嬉しそうに報告してくれました。家族と過ごす時間が多く、人によっては甘えん坊に？わがままに？過ごせた「特別の時間」も、2学期のスタートと共に気持ちを切り替えねばなりません。そのせいでしょうか？ほんの少しドキドキ...。しているそんな表情も見取

れます。「幼稚園に行くこと」は、家族以外の人と関わりながら、周囲にアンテナを張り、子どもなりに状況判断しながら自分で生活をしていくことがたくさん出てきます。だからこそ自ずと緊張感が増すのでしょうね。でも...生活リズムが落ち着き、幼稚園での生活習慣を思い出せば、ほどなくいつもの調子を取り戻してくれると思います。一人ではなく、友達がいてくれることで「ホッ」と安心、笑顔になれるのですから！

さて、2学期！幼稚園の大きなイベントが目白押し。そして就学へ向けて大きく前進する時期でもあります。子どもたちが友達と協力して、時に立ち止まり、時に悩み、時に涙し、それでも最後は「たのしかった！」「もう一回やりたい！」と思える毎日を子どもたちと一緒に築いていきたいと思います。また一方では、就学に向けて生活習慣の自律、時制の理解・獲得、文字や数字の感覚を豊かにしながら「学ぶ」姿勢を育てていくことで、幼稚園から学校へ...スムーズな移行を意識して過ごしていきたいと考えています。お家の方々も、園生活をお楽しみくださいませ。そして今学期も、ご家庭との連携を持ちつつ子どもの育ちを守っていききたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。